



2学期は、子どもたちが最も成長する『黄金の学期』です。定期テスト、雄飛祭、部活動、生徒会選挙、進路選択・決定など、仲間と力を合わせながら、自分の力を伸ばしていく機会がたくさんあります。

人は、挑戦することで成長します。そして、挑戦には必ず『自分と向き合う時間』が必要になります。「自分は何を頑張りたいのか」「なぜうまくいかなかったのか」「次はどうすればいいのか」、経験したことを思い返して、自分の気持ちを考える時間がとっても大切であり、成長につながっていきます。

でも、暇になるとすぐスマホを見る（触る）。何もすることがないと、ゲームをする。動画を見る。そんなふうに、いつも何かで時間を埋めていると、自分の心と話をする時間がなくなってしまうことがあります。だから、時々、スマホやゲームから離れて自分の心に聞いてみる時間を作ってほしいと思います。その時間は、きっと自分をつくっていく時間につながっていきます。

いろいろな体験や挑戦をすること。いろいろな人と関わること。そして、自分自身に問いかけること。子どもたちが自らと向き合い、しっかりと前を向いて進んでいけるよう、家庭と学校がともに連携して、その背中を後押ししていきたいと思います。

いのちを守り、ふるさとを支える
-いきる・かかわる・そなえる-

地震発生時、皆さんはどこにいましたか。どのような行動をとりましたか。どんなことを考えま

したか。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、「自分の命を守るためにはどうすればよいか」「家族や友達、周りの人を守るために何ができるか」を普段から考えておくことが大切だと強く感じました。子どもたちには、ふるさとを愛し、その復興や発展を支える人になってほしい、そのために「いきる」「かかわる」「そなえる」力を日々の生活の中で高めてほしいと思っています。

令和8年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興と皆さまに平穏な日常が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。



【鹿本中学校HP】